

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 5 月 11 日 No8

体育祭に向けて大切にしたいこと

先日新聞を読んでいたら、是非皆さんにもお知らせしたい記事があったので紹介します。この記事は5月7日の毎日新聞朝刊からです。筆者はスポーツ庁長官である鈴木大地氏です。皆さんのお父さんお母さんの世代は御存じだと思いますが、鈴木氏は1988年ソウルオリンピック背泳ぎの金メダリストです。ここに書かれていることは、部活動で頑張る人たちにはもちろんですが、これから始まる体育祭のブロック練習に向けても大切にしてほしいことなのです。

わずか10日間の短い練習期間で体育祭の準備をします。天候に恵まれた日ばかりではありません。そう考えると、練習に使う1分1秒がとても大切な時間に思えてきます。この時に大切なのが、「聴く力」です。リーダーの指示を聞きもらすまいとしっかりと聴く力。そして、リーダーたちも、いつもブロックの仲間が指示通りに動いてくれるとは限りません。そんな時にイライラせず、自分自身の心をコントロールする「自己管理能力」が必要ですね。そして、ブロックのみんなが目標に向かってよりよい解決策を「話し合う力」が求められます。

下の写真はそれぞれ、1年生、2年生の掲示板に張られていたものです。1年生、2年生ともに3年生のリーダーシップに期待しています。さあ、いよいよ今日からブロック練習の始まりです。

時評・点描



鈴木大地

サッカーのイングランド・プレミアリーグで優勝を果たしたレスター。その中心の選手が日本の岡崎慎司だ。岡崎は2005年にJリーグ1部(当時)の清水に入団。その年に入った

「聴く力」の大切さ

選手たちは、10年後にどうなったか。岡崎のように海外リーグで活躍できるような選手がいる一方で、3分の2はJリーグから退団している。

では、どういう選手が生き残っているのか。Jリーグ関係者によると、彼らを指導した人たちに聞いた興味深いアンケートがあるという。つまり「サッカー選手として活躍するにはどういう能力が必要か」。

上位に挙げたのは①傾聴力②自己管理能力③話す力④自己管理することである。活躍するよう選手はまず、人の話をよく聴くことができる。未完成を自覚し、自分を高めていくため周囲からのアドバイスをどんどん吸収していく。岡崎は入団当初、実力としてはチームの中でも下の方だったという当時の監督のコメントも残されている。その後、日本代表になっただけでなく、海外でも絶賛される選手になれたのは①の聴く力であり、

厳しいトレーニングを積み自分を律することができる②の自己管理能力と自己研さんである。よく話を聴き、その上で③をベースにした自己アピールも大事であることを示している。

これらのアンケートの回答は、あらゆるスポーツに必要な素養かもしれない。私なりに補足させていただけると、①の聴く力には何が真で何が偽かということを聞き分けられる力も含まれていると思う。

